

# 安全報告書

( 2 0 0 9 年 )



鉢伏開発観光株式会社  
(八子・八子北スキー場)

## 1. 利用者の皆様へ

平素よりハチ・ハチ北スキー場をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。  
弊社は、安全第一をモットーに掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

鉢伏開発観光株式会社 取締役社長 平田 真基

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

弊社は、安全第一をモットーとし、安全管理規程に「安全に係る行動規範」として次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

(鉢伏開発観光株式会社 安全管理規程より)

社長、役員及び職員(職員に準ずるものを含む)(以下「職員等」という。)の安全に係る行動規範(安全の基本理念、安全方針)は、次のとおりとする。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程(本規程を含む。以下「法令等」という。)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

### (2) 安全目標

平成20年度の安全目標は「索道運転事故発生0件」でありましたが、平成21年3月8日13時40分頃ハチ高原ファミリートリプルリフトにて索道人身障害事故が1件発生。平成21年度はあらためて「索道運転事故発生0件」を安全目標に掲げ、安全の確保に努めます。

### 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

#### (1) 索道運転事故

平成 21 年 3 月 8 日 13 時 40 分頃

八チ高原ファミリートリプルリフト(単線固定循環式特殊索道)終点停留所にて、負傷者 1 名(13 歳女性 頭部裂傷(縫合 3 針))

#### 概 要

山頂停留所においてスノーボードの旅客が降車後に約 3 m 進んだ斜路で転倒。その場で起き上がろうとしたところに乗っていた搬器の底部フレームと旅客の頭部が衝突し、負傷した。旅客は 2 名で搬器に乗車しており、負傷した旅客は内側(進行方向右側)に乗車していた。転倒に気づいた終点係は運転速度を 1.6m/s から 0.8m/s へ減速したがそれで対処できると判断し、停止ボタンは押さなかった。

#### 再発防止措置

- 当該リフトの担当者(索道技術管理員及び乗客係)に事故の状況を説明し、今後同じようなケースでは「非常停止」することを徹底した。(平成 21 年 3 月 9 日に実施)
- リフト係員全員に今回の事故を文書で報告し、今後同じようなケースでは「非常停止」することを徹底する。(平成 21 年 3 月 13 日に実施)
- 次年度の社内研修会では安全輸送に対する教育、特に運転取扱細則で定められた、「減速は乗降時の対応」であり、降り損じて転倒などした場合は減速ではなく「非常停止すること」を徹底する。
- 次シーズン営業開始までに当該リフトの搬器下部フレームに緩衝材を巻く。

#### (2) 災害(地震・暴風雨・豪雪等)

強風のため延べ 1.5 日間リフトを休止しました。

なお、今期のリフトの総運転時間は 10,715 時間となりました。

#### (3) インシデント

平成 20 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

#### (4) 行政指導等

平成 20 年度、監督官庁等からの行政指導はありません。

#### 4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育及び緊急時対応訓練

弊社ではスキー場営業開始を前に全従業員を一同に集めた集合研修を実施しており、その場で安全に関する心構えや、救助訓練の実施、リフト運転に関する知識の向上などを教育しております。今期は平成 20 年 11 月 28 日に開催いたしました。

(2) 安全のための投資と支出

毎期末に安全を最優先に次年度の投資、補修を決定し実行しております。平成 20 年度の主要な実施状況は以下のとおりです。

- ハチ高原中央ペアリフト握索機の全交換。
- ハチ北高原中央クワッドランプレールの交換
- ハチ北野間クワッドリフト緊張油圧ユニットのオーバーホール。

平成 21 年度は、ハチ高原中央クワッドリフト、ハチ北高原野間クワッドリフト、ハチ北高原北壁ペアリフトの支えい索の交換、ハチ北高原中央クワッドリフトの握索機のオーバーホールを実施いたします。

## 5. 安全管理体制

弊社の安全管理体制は社長をトップとした以下のとおりとなっております。各リフトでは索道技術管理員が主となり、始業前ミーティングで当日の健康状態や天候などを確認しております。

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任者
役員	輸送の安全の確保に関する体制の整備、方法の決定、状況の把握及び必要な改善を実施する。
鉢伏事業部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、資金に関する業務を統括する。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する
リフト係	索道技術管理員の指揮の下、乗客係・終点監視係などを勤める

## 6. 弊社へのご意見・ご要望

弊社へのご意見・ご要望は下記までお願いします。

〒550-0013

大阪府大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル2F

鉢伏開発観光株式会社 鉢伏事業部

TEL: 06-6532-1781

FAX: 06-6532-1777

URL: <http://www.hachi-hachikita.co.jp/>

e-mail によるお問合せも上記URLからお願いいたします。